

2012五輪イヤー
英国だより
 ロンドンしやくなげ会

8

榎田信博さん
 福島医大医師

ロンドン郊外のギルフォードにあるサリー大に留学しています。



サリー大の研究室で使用している実験装置と榎田医師

ギルフォードはロンドン中心部から南西に四十キロほど離れた街で、電車で三十分ほどです。ウィリアム征服王によって十一世紀に建てられた古城があり、作家・ルイスキャロルが「鏡の国のアリス」を執筆した家も残る趣のある街です。石畳でできたハイストリート(目抜き通り)は百五

め街中はどこも混雑していません。しかし一歩郊外へ出ると、ヒースの原や美しい林、牧場等が広がっており、自然の中での暮らしを大切にしている英国人の感性は大変素晴らしいと思います。日本では患者さんを診察したり手術をしたりするなど、臨床が仕事の中心です。英国では膀胱(ぼうこう)

患者さんは日本に八百三十万人ほどおり、排尿・蓄尿のメカニズムを調べることが私の留学のテーマです。福島医大泌尿器科は膀胱機能の研究では国内トップクラスです。こちらの研究室で最新の手法や考え方を学び、医大のさらなる発展に貢献できればと考えています。

膀胱機能の研究進める

伝統と自然の街に留学

十年以上前からほとんど変わらず、十六世紀に建てられたギルドホールがシンボルになっています。通りの建物は古いですが、中には最新のブランドショップやデパートになっていて、いつも大勢の人でにぎわっています。

現在のギルフォードはロンドンへの通勤圏であるため、健康な人は気にならないかもしれませんが、「おしっこを漏らさないようにためてトイレに行っておく」ことは極めて精巧な機構で成り立っています。トイレが近くて困る、我慢できなくて漏らしてしまうという

う機能の研究で世界的に有名なサリー大生理学研究室に所属しています。健康な人は気にならないかもしれませんが、「おしっこを漏らさないようにためてトイレに行っておく」ことは極めて精巧な機構で成り立っています。トイレが近くて困る、我慢できなくて漏らしてしまうという

普段は研究室と大学の宿泊施設を往復する忙しい日々ですが、時折は英国各地を訪れることもあります。ロンドンの街はオリンピックを向けて日に日に華やかになってきており、日本人の活躍を楽しみにして

います。(いわき市生まれ。磐城高―福島医大医学部卒、同大大学院修了。総合南東北病院、寿泉堂総合病院などを経て福島医大泌尿器科助手。昨年1月からサリー大リサーチフェロー。43歳)



ギルフォードのハイストリート

教 養